

やまもも

稲沢市立大里東中学校学校だより
令和5年9月吉日 第189号

編集・発行 長澤 辰夫

秋をイメージさせる美しい言葉 「秋高し」

まだまだ残暑が続く日々ですが、心と空を見上げると、青空に中で雲が高く見えることがあります。「秋がそこまで来ているなあ」と感慨にふけります。

秋の空が高く見えるのは、空がとにかく青いことです。この時期、日本にやってくる移動性高気圧は不純物が少なく、太陽光が乱反射しにくくなって、青の光の波長がよく届くことだそうです。そして、雲が発生する範囲の高度が実際上がるため、空が高く見えるのです。この「秋高し」と似た言葉で、「天高し」「空高し」があります。

今年は、とにかく暑く、本格的な秋はまだ先のようですが、こんなところから秋を感じるのもよいものだと思います。

コロナ以前の学校祭に！

9月20日（水）と21日（木）に学校祭を行いました。今年は、ようやくコロナ以前の状況に戻し、保護者の方はもちろんのこと、ご来賓の皆様や地域の方々にお越しいただいて実施することができました。開会の挨拶をさせていただく中で「長かった」という思いがこみあげ、ジーンとくるものがありました。

残暑が厳しい中、特に体育祭の実施については心配しましたが、幸い風や雲のおかげで大きく体調を崩す生徒もなく、実施することができました。ただ、体育祭の閉会式では、急に雲行きが怪しくなり、大きな雷鳴1回とにわか雨により急遽避難というアクシデントがありました。子どもたちは迅速に行動してくれたおかげで、何事もなく本当によかったと思っています。

また、PTAの皆様に来場される方の受付を快く引き受けてくださり、私ども教員は、子どもたちの対応に集中させていただくことができました。本当にありがとうございました。このような形で本校の教育活動の様々な場面で積極的に保護者の皆様に関わってくださるようになればと願っております。

